

空圧での試験には、デジタル式圧力記録検査器（ビックリくんV）を使用します

従来の圧力計を使った試験に比べて、詳しく圧力変化を見ることができ、短時間で漏れ判定が可能です

・検査モード、圧力、検査時間、漏れ判定について

判定対象 PEPB 管 15L まで

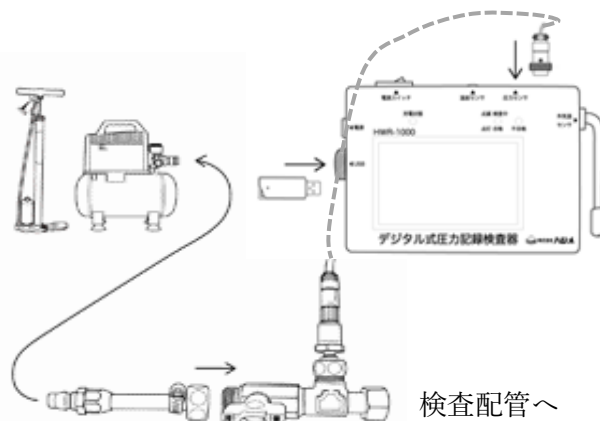
検査モード	試験圧力	待機時間	検査時間	合計時間	判定差圧
PEPB 管 300kPa モード	300kPa	5分	10分	15分	0.6kPa

※配管内圧力の安定を促すため、待機時間を設け、待機後に検査を自動的に開始

※検査時間中に、判定差圧以上の圧力低下があった場合、漏れ有り判定

・漏洩検査手順

- ① 検査配管、コンプレッサーを付属の「配管接続アダプター」に接続
- ② 圧力センサーを接続
- ③ 検査器の電源を入れ、漏洩検査モードを選択
- ④ 検査番号、作業者を液晶画面で入力
- ⑤ 「加圧してください」の画面になったらコンプレッサーで目標圧力まで加圧
- ⑥ 加圧完了したら、バルブを閉じ、キャップで封止
- ⑦ 「加圧完了」ボタンを押す
- ⑧ 「待機中」の画面になり、待機時間カウントが始まる
- ⑨ 待機が終わると「漏洩検査中」の画面になり、詳細圧力グラフ（赤線）が表示される
- ⑩ 検査が終わると、検査結果の画面になり、判定結果を表示します(iPad の場合はここで操作)



「漏れはありません／合格」	漏れなしと判定し、検査終了
「漏れの可能性／不合格」	配管接続アダプタ周辺の漏れ無しを確認して加圧状態のまま、同じ試験をもう一度、繰り返し実施します
「漏れがあります／不合格」	

2 回目検査の結果表示

「漏れはありません／合格」	漏れなしと判定し、検査終了 ※ 1 回目は外気温や配管の素性による誤判定と考えられる
「漏れの可能性／不合格」	漏れがあるので空気圧を抜き配管の点検後、再度、最初から検査します
「漏れがあります／不合格」	

- ⑪ 「保存終了」ボタンを押して結果を USB メモリーに保存 (iPad の場合は自動保存)
- ⑫ 最初の画面に戻るので次の検査に進みます

・検査後は、検査結果データは添付 USB メモリーに蓄積されるので、PC 用帳票ソフトを使って、1 日に 1 回程度は、データ取込、報告書帳票の作成等を行ってください

判定	漏れはありません		
検査番号/日付	A1-0002	17/10/28	
検査モード/圧力/空圧	300kPa	センサー種別	
材質/容量	PE・PB -15L	No.1 1.0MPa	
開始	21:06:17	0.000kPa	保存しない で終了
待機	21:10:10	308.123kPa	
検査	21:15:10	307.905kPa	保存終了
判定	21:25:10	307.789kPa	
終了		0.000kPa	